

平成 19 年 6 月 1 日

各 位

会 社 名 山下医科器械株式会社
代表者氏名 代表取締役社長 山下 耕一
(コード番号：3022 東証第一部)
問 合 せ 先 取締役 吉本 晋治
(TEL. 092-726-8200)

デモバスの導入および運行開始のお知らせ

当社グループは、CT・MRI等の画像診断機器の操作が体感できる、デモンストレーションバス（通称『デモバス』）を医療機器ディーラーで初めて導入し、本日より運行を開始いたしましたのでお知らせいたします。

1. サービスの内容

当社の『デモバス』は、長さ約 7m、幅約 2.1m、高さ約 2.8mのマイクロバスをベースに、最新の画像診断機器の操作コンソールや超音波診断装置等を搭載する設備を備えた、医療機器の移動展示車両です。

機器選定をお考えの方に実機による製品説明ができるほか、実際に操作して頂くことで、操作性や出力画面を体感して頂くことができます。また、お客様がいらっしゃる場所まで直接出向くことができるため、多忙なドクターや放射線技師の方々には、移動などの時間を節約していただくことができます。

『デモバス』は、北部九州を拠点に九州全域（沖縄県を除く）をカバーするほか、当社が平成 19 年 5 月に開設した広島営業所を足掛かりに、中国地区・四国地区までを運行エリアとして展開してまいります。

2. 初回搭載機器

【操作コンソール】

- ◆ProSpeed (2チャンネルCT、GE製)
- ◆BrightSpeed Excel (4チャンネルCT、GE製)
- ◆BrightSpeed Edge (8チャンネルCT、GE製)
- ◆BrightSpeed Elite (16チャンネルCT、GE製)

【実機】

- ◆LOGIQ P5 (超音波診断装置、GE製)
- ◆ApolloView (PACS、ダイトー製)
- ◆SYNAPSE Lite (PACS、富士写真フィルム製)

今後は、MRI、Cアームの搭載や超音波診断装置を増設する等、搭載機器のバリエーションをより充実させていく予定です。

3. サービス導入の背景

医療費の抑制政策により医療機関を取り巻く環境は変化しており、医療機関同士の競争に勝ち抜くためには医療機器の充実も重要な要素であります。特にCT・MRIなどの画像診断機器は機能更新のスピードが速く、最新の機種に対する医療機関のニーズは強いものがあります。

従来、画像診断機器はメーカー主体の販売が中心でありましたが、当社はこのようなニーズに応えるため、医療機器ディーラーとしていち早く画像診断機器の販売に注力してまいりました。今般、従来の拠点中心の販売網にプラスして移動展示車両を導入することにより、きめ細かい顧客のニーズに対応し、一層の販売力強化を図るものです。

以 上



for medical design
yamashita

